

令和三年度 高知市立南海中学校 入学式 式辞

六十七名の新入生の皆さん、保護者の皆様、本日はご入学おめでとうございます。

皆さんの小学校六年間の最後の年は、日本中が新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。学校が休校になっただけでなく、授業や友達との活動が制限されたり、学校行事が短縮・中止されたりして、とても残念な思いをした人も多かったと思います。そんな中でも、皆さんは精一杯、楽しく小学校生活を送ったことと思います。

長浜小学校では、今年の新入生も元気で思いやりのあるなかまが育っていると聞いています。また、先日のドッジボールの県大会では、強豪チームがひしめく中、見事、準優勝したことをテレビで見て、とてもすばらしく、頼もしく思いました。

また、浦戸小学校と言えばプログラミング学習。ドローンを自在に操るすごい小学生をテレビニュースで見て、とても感心したことでした。

さらに、どちらの小学校でも地震・津波避難についてしっかり学習・行動ができていて、この南海中学校でもさらにその学習を深め、地域に貢献する中学生、どんな困難も乗り越える人に育ってほしいと願っています。

南海中学校では、感染防止に最大限に気をつけながら、可能な限りいつも通りの中学校生活を送ることができるよう配慮していきたいと考えています。こんな中だからこそ、友達や先生とのつながりや絆をいっそう大切にしてください。

皆さんが入学した南海中学校は、開校以来、今年で七十五年目を迎えます。その歴史の中で、学校として大切にしていることが二つあります。

一つめは、今から六十六年前の五月、当時の宇高連絡船「紫雲丸」の事故によって、修学旅行中の南海中学校生徒二十八名の尊い命が失われたことです。毎年、命日の五月十一日に追悼式を行い、命の尊さや生きることの大切さを学習しています。

二つ目は、今から六十年前に、この長浜の地から始まった教科書無償運動によって、現在、全国の小・中学校で教科書が無償で配布されていることです。日本全体を動かしたこの運動から、私たちは基本的人権の大切さや、今なお残っている差別をなくすための学習を行っています。

この二つのことは、南海中の歴史の中でも決して忘れてはならないし、これからも大切にしなければならいことで、南海中学校の生徒の学びの礎（いしずえ）となっていることです。

さて、新入生の皆さん、中学校生活で最も期待していることはどんなことですか。あるアンケート調査によると、そのベストスリーは、「部活動」「勉強」「友達づくり」なのだそうです。中学校生活は、新たな自分の歴史のスタートです。本当に、そのどれにも頑張ってもらいたいと思います。

その中で、南海中学校で最も期待してほしいこと、頑張ってもらいたいことは、何といたっても「授業」です。南海中学校が10年間続けている、認め合い、支え合い、学び合う学習活動、「学ぶ力」

と「伝える力」を育てる学習活動、一人1台のタブレットPCを使った授業などで、皆さんの持つ力をもっともっと伸ばしていきたいと思っています。

このようなことから、私は新入生の皆さんとともに、この南海中学校を次のような中学校にしたいと考えています。

高知市でいちばん、授業を大切にする中学校にします。

高知県でいちばん、命・人権を大切にする中学校にします。

日本でいちばん、なかま・生徒を大切にする中学校にします。

新入生の保護者の皆様、関係の皆様、改めましてお子様のご入学おめでとうございます。

中学校の三年間は、多感な思春期を迎え、心身ともに大きく成長するときでもあり、将来の夢の実現に向けての基礎となる貴重な三年間になります。子どもたちの成長のために、私ども職員一同、全力で教育を行ってまいりますので、私どもと力を合わせていただけますよう、ご協力をお願いいたします。お子様のことでご心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

保護者の皆様、南海中学校は今、地域に貢献し、地域に誇れる学校に変わろうとしています。これからの南海中に大いに期待してください。

本日、晴れて南海中学校の生徒となった六十七名の新入生の皆さんの健やかな成長を願い、式辞といたします。

令和三年四月七日 高知市立南海中学校 校長 廣瀬 啓二